



かわいの子

小中一貫型
小野市立
河合小学校
令和6年3月

—他者と共創し、主体的に学ぶ児童生徒の育成— 「強く 正しく 温かく」

“ 地域の方に学ぶ・体験学習 ” 共に創る学校

やわらかな昼の日差しに 近づく春の訪れを感じる3月。体育館西の桜の新芽や菜の花のつぼみが日に日に膨らんでいます。コロナ禍に見舞われ、社会が一変してから4年目の春となりました。今年度はコロナに次いでインフルエンザの感染が広がり、一時は心配な状況となりましたが、ご家庭のご協力のもと学校でも感染防止に努め、ほぼ予定通りの学校行事や体験活動、学習をすすめることができました。様々な行事や活動を通して子どもたちが自信をつけ、着実に成長していく姿にうれしさを感じる1年でした。



4年生 和楽器体験 琴の演奏



一人ひとりが今年1年間積み重ねてきた努力を糧に、次の学年での新たな目標をもってチャレンジすることを願っています。3月は、不安と期待が入り交じる時期です。4月からは1つ学年が上がり、新たなステージに移りますが、子どもたちが希望を持って新年度を迎えられますよう、教職員一同力を合わせて準備を整えて参ります。引き続きご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

今年は、能楽、狂言、琴、尺八の演奏家をはじめ地域の人との連携により、子どもたちは、多様な芸術を鑑賞しその活動に参加しました。子どもたちの感性を高め豊かな心を養う機会をいただいたことに感謝いたします。

保護者様や地域の方のご協力のもと、子どもたちが学びの過程でより地域とのつながりを深め、河合地域への愛着と感謝の心をもって成長されることを願い、今後も教育活動をすすめて参りたいと思います。

4・5年生 震災授業（阪神淡路大震災・能登半島地震）

神戸新聞社より三好正文さんにご来校いただき、阪神・淡路大震災と能登半島地震について、写真や映像を交えてお話いただきました。以前実施した避難訓練の振り返り作文の中に「実際に地震があったときの話が聞きたい。」という子どもたちの希望があり今回実現のはこびとなりました。

三好さんは、29年前神戸三宮の神戸新聞社ビルで地震に遭われたそうです。地震の記憶を語り継ぐことにより、人々の防災意識を育てたいという思いを語られました。“備えにゴールなし”自分や家族、周りの人の命を守るために子どもたち自身何ができるかを真剣に考え体験する貴重な機会となりました。

尚、授業の様子と新聞スリッパを作っている写真、児童の感想等が、3月13日の神戸新聞に掲載される予定です。ぜひご覧ください。



新聞スリッパを作ってみよう



ダンボールベットをつくったよ

5年生 愛校作業 小学校舎をピカピカに！

5年間過ごしてきた河合小学校舎を隅々まで美しく掃除しました。廊下、階段、まど、体育館、舞台、玄関、トイレ、ベランダ、家庭科室、図工室など、友だちと協力し一生懸命磨きあげる姿はさすが5年生！喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

